



はじめの一歩

「週刊少年マガジン」(講談社)で連載中の漫画に、同名の作品(著者;森川ジョージ)がありますが…。
2年生の「キャリア・ウィーク」(1週間の職場体験)が終わりました。働くことの楽しさや厳しさなどを実感するとともに、自分で考えて動くことの大切さも学ぶことができたでしょう。

さて、今週は2学期末テストの発表があります。3年生にとっては、中学校生活最後の定期テストとなります。いつもよりちょっと早く第一歩を踏み出すことが、いい結果につながるかもしれません。また、勉強だけでなく、日々の生活の中でも、まず動いてみるのが、自分を変えるきっかけになるかもしれません。

『まず動く』(多湖輝著;高木書房)には、ちょっとした人生のメッセージがたくさんつまっています。

- ★ 心の持ち方ひとつで、人生は大きく変わります。
- ★ 昨日と今日の差はほんのわずかしかなかったりしますが、1年もたったら大きな差となります。
- ★ たとえ沈んだ気分の時でも、明るい言葉を積極的に使しましょう。
- ★ どんな人でも、生まれながらにして強い精神力など持ってはいません。
- ★ 人間は考え方を工夫することで、進歩・向上します。
- ★ 地位や名誉など、求めるものではなく、結果として与えられるものです。
- ★ 気がついた時から始めれば、遅いということはありません。
- ★ いくらいい方法でも、実行しなければ何の役にも立ちません。
- ★ 逃げれば逃げるほど、問題解決が遠くになります。
- ★ やる気になって一歩を踏み出ささえすれば、たいしていいことはできるものです。
- ★ 目に見えない小さな差が、やがては大きな差になります。
- ★ 逆境は自分を成長させるよいチャンスだと考えることです。
- ★ 人生を目先の損得のみで考えるのをやめましょう。
- ★ とにかく明日一日、継続してみることです。
- ★ すぐに結果を求めてはいけません。
- ★ 人に何かを求めるより、与える方がいい気分です。
- ★ どんなことでも弱音を吐く前に、とにかく一歩だけ踏み出してみましょう。
- ★ 行動した人は、その分確実に成長していきます。

今度は「職場体験」が新聞に載りました

「給食甲子園」(10/30掲載)に続いて、11月12日の四国新聞に「職場体験」の様子が載りました。

香川県三豊市詫間町の詫間中学校(資延文一校長)はこのほど、5日間の日程で職場体験学習をスタートさせた。2年生106人が地元企業やスーパー、農家などで通常の業務を体感し、働くことの意義や大切さを学習する。子どもに働く大人の姿を見てもらうとともに、仕事のやりがいや苦労を感じてもらおうと毎年開催。今年は詫間町内の企業や商店など31カ所の協力を得て実施する。

このうち、農家の浦川清徳さんの畑には、男子2人が参加。ミカンの皮に傷が付かないはさみの使い方や収穫時期を迎えたミカンの見分け方などの指導を受けながら、色づいた実を次々と摘み取っていった。収穫したミカンは12、13日に給食に出る予定。井上達哉君は「育てたり収穫する作業は大変」と話していた。



◆◆◆◆ インフルエンザによる学級閉鎖等で不足している授業時数の確保について ◆◆◆◆

学校通信23号(10/28発行)で、学校閉鎖のためにできなかった授業の確保についてお知らせしましたが、その後、再び学級閉鎖になった学級が出たため、再度検討し、以下のようにすることにしました。

- 月曜日は、これまでの5時間授業を6時間授業とする。
- 毎週2時間ある「総合的な学習の時間」のうち1時間を教科指導に振り分ける。